

◆◆◆◆平成8年度の養成講座にご参加下さい◆◆◆◆

質の高い活動をめざして

今年も下記のような日程と内容で養成講座を行います。  
今年は一宮社会福祉協議会のご理解を得て共催で行うことになりました。また、内容にも新しい試みをしてみました。皆様のご参加をお待ちしています。  
詳しくは事務所までお問い合わせ下さい。

平成8年5月8日(水)～7月3日(水)

回	日時	講座内容	講師
1	5/8(水) 10時~12時	開講式・オリエンテーション	
	13時~15時	老人福祉の制度サービスについて	市高年福祉課係長星野喜典氏 訪問看護ステーション・アクト派長白瀬きよ子氏
2	5/15(木) 10時~12時	脳血管性痴呆とアルツハイマー症について	一宮市民病院伊勢分院 医師 岩田 拓氏
	13時~15時	住民参加型在宅福祉サービスについて	愛知県社会福祉協議会 地域組織部部長丹羽典彦氏
3	5/22(木) 10時~12時	高齢者を取り巻く実情	中日新聞生活部 高間 睦氏
	13時~15時	午前中の講義を参考に皆さんでディスカッション	
4	5/29(木) 10時~12時	リハビリテーション医療の基礎知識と実技	老人保健施設アウン・岡村 茂氏
	13時~15時	医学の基礎知識	一宮医師会
5	6/5(水) 10時~12時	在宅看護の基礎知識	一宮市民病院伊勢分院 看護課長 神山詩子氏
	13時~15時	在宅福祉機器に関する知識	モリトー医理器
6	6/12(水) 10時~14時	高齢者の食事・調理実習	東海記念病院栄養士 菅野栄子氏 上野友恵氏
	6/19(木) 6/21(金) 6/24(月)	施設見学(3回の内容台のよい日に一日)和進館ふれあいセンター	
8	6/26(水) 10時~12時	車椅子から椅子やベッドへ(反転ベッドから)の移動実技	特別養護老人ホーム一宮寮寮母
	13時~15時	車椅子で街の中へ実習	"
9	7/3(水) 10時~12時	介護技術	日本赤十字社愛知県支部
	13時~15時	介護技術	"
		閉講式	

4月の予定

- 1日(月) 会報「まごころ尾張」発行 定例会 思いやり会館
- 3日(水) 運営委員会
- 4日(木) - 登録ボランティア
- 8日(月) - 登録ボランティア
- 10日(水) 運営委員会
- 11日(木) 駒ミニデサービス名古屋城 - 登録ボランティア
- 14日(日) 第3回総会 午後1時~
- 15日(月) - 登録ボランティア
- 17日(水) 運営委員会
- 18日(木) ミニデサービス - 登録ボランティア
- 20日(土) 姉妹在宅介護実践の会「you愛」 発表会
- 22日(月) - 登録ボランティア
- 24日(水) 運営委員会
- 25日(木) - 登録ボランティア
- 26日(金) - 一宮市在宅介護支援システム実務者会議

五月十三日(月)午前九時四十五分~午後二時三十分 思いやり会館  
◆ケアをされた方は  
◆定例会及びケア検討会  
この日はケアはお休んでください。利用会員さんには必ずお知らせ下さい。

五月月の定例会は



昨年、錦秋の頃、大台ヶ原から大杉谷を歩いた。中高年向けのツアーがあって、友人を誘って参加したのである。普通は一泊か、せいぜい二泊で歩くコースを三泊するのだから、ずいぶんゆっくりしたペースではあるが、かなり傾斜がきつくて、それほど楽というわけではない。大杉谷は評判通りすばらしい景観であった。  
一行の中に年配のご夫婦がいて、奥さんのほうは折れそうな細い足でヒョイヒョイと歩いていく。ご主人は背筋がしゃんと伸びた白髪の老紳士である。  
お二人ともあまり元気なので、山小屋での雑談の時、お年をお聞きして驚いた。ご主人は「1915年生まれです」。奥さんは2歳年下で78歳だという。74歳まで仕事をしていて、それから二人で山歩きを本格的に始め、日本百名山のうち60をすでに登ったと言われる。話を聞いていると、北海道から九州まで足跡を印さないところはないという感じである。傑作なのは山へ出かけるときはJRの青春切符(日本中、鈍行なら乗り放題)を愛用していて、最近では長距離の鈍行が少なくなって不便になったのが悩みだそうだ。「あれは名前は青春切符でも、年齢に関係なく誰でも買えます。私たちに買えるのだから間違いありません。山から家に帰ると、階段を上るのがしんどくて仕様がないうんですよ」「リュックを背負って上るといいかも知れませんよ」誰かが応えたので大笑いになった。  
「青春とは…」で始まる有名な詩は次の一節で終わっている。  
頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、  
80歳であろうと人は青春にして己む。  
まさにこの詩そのもののお二人に出合え、爽やかな山行であった。

(谷医院院長)

第10回住民参加型在宅福祉サービス全国研究セミナー開催  
(平成8年3月6日~7日(東京)主催:全国社会福祉協議会)  
当センターから3名参加しました

今回のセミナーは、住民参加型団体の活動の着実な増加とあいまって市民活動の関心が高まる中、介護保険導入に伴う新たな福祉サービスの在り方が問われ、住民参加型が地域の中でどうあるべきかが討論されました。

(参加資料から)

全国非営利住民参加型在宅福祉サービス団体アンケート結果より

平成6年度の住民参加型在宅福祉サービス団体が担った  
ケア時間総数は約570万時間(5,700,239時間)

これらの結果からみても住民参加型在宅福祉サービス団体の果たす役割は極めて重要であり必要なものになっています